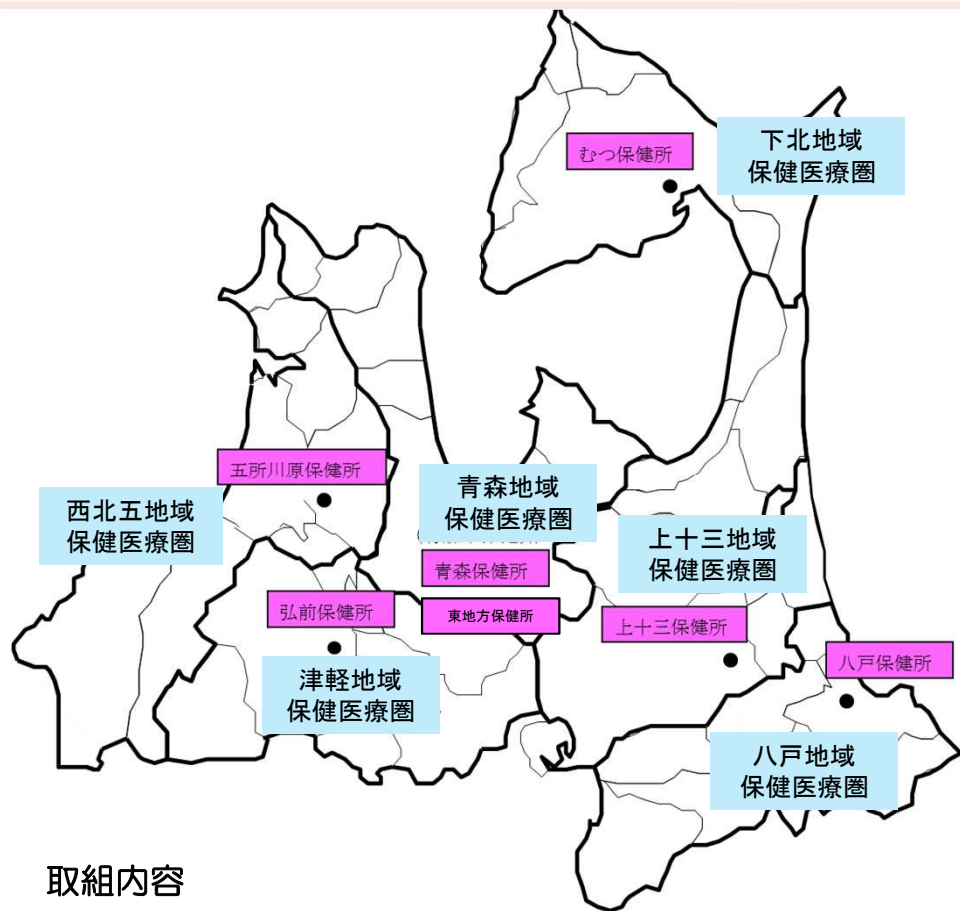


青森県

顔みせて、かたって、つなげて地域移行

青森県では平成27年度から、地域におけるネットワークの再構築と地域移行における中核となる人材育成を目的に、関係機関との協働による研修会から新たな一歩を踏み出した。

1 県の基礎情報



取組内容

【人材育成の取り組み】

- 多種職による研修会の開催
- 国研修への派遣支援

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- 多種職による研修会の開催
- 関係団体間の相互の情報共有の推進

基本情報

障害保健福祉圏域数 (H28年12月末)	6カ所		
市町村数 (H28年12月末)	40市町村		
人口 (H28年11月末)	1,292,212人		
精神科病院の数 (H28年12月末)	27病院		
精神科病床数 (H28年12月末)	4,453床		
入院精神障害者数 (H28年6月末)	3か月未満：913人 (24.5%)		
	3か月以上1年未満：731人 (19.6%)		
	1年以上：2,087人 (55.9%)		
	うち65歳未満：857人		
	うち65歳以上：1,230人		
退院率 (H28年6月末)	入院後3か月時点：60.0%		
	入院後6か月時点：80.1%		
	入院後1年時点：90.0%		
相談支援事業所数 (H28年12月末)	基幹相談支援センター：21		
	一般相談事業所数：55		
	特定相談事業所数：143		
障害福祉サービスの利用状況 (H28年9月)	地域移行支援サービス：5人		
	地域定着支援サービス：32人		
保健所 (H28年12月末)	7カ所		
(自立支援)協議会の開催頻度 (H28年)	1回/年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	都道府県	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	0カ所
	障害保健福祉圏域	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	0カ所
	市町村	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	0カ所
精神保健福祉審議会 (H28年5月末)	1回/年、委員数20人		

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

- 平成29年度に「青森県地域移行推進連携会議（仮）」を設置予定。
- 当該会議において、本県における「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」のあり方について検討する。
- 併せて地域移行を推進するために必要となる各種施策についても検討（退院支援プログラム、ピアサポーターの要請等）
- 全県を対象とした官民協働研修会を開催し、当該システム構築に向けた意識を共有する。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む市・圏域（例）

関係機関の役割		
市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	
	協議の内容	
	協議の結果としての成果	
障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	現時点では未定
	協議の内容	
	協議の結果としての成果	
都道府県ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	
	協議の内容	
	協議の結果としての成果	

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

平成23年度まで

地域移行定着支援事業を実施（実績は年間2名程度）

法定給付化から
県・保健所の役割
に迷走

平成23年～25年度

アウトリーチ推進事業を4ヶ所を実施

多種職による支援
の重要性を改めて
認識

法改正準備と改正後

法改正を通じ改めて関係機関との顔の見える関係を再構築
医療・福祉・行政が一同に集う研修会を開催（法改正後の課
題など）

各団体の研修会に
参加、国研修会へ
派遣

平成27年度～

地域移行と人材育成を目的に多種職による研修会を実施
（支援の三角点設置研究会モデル事業）

関係機関の力を結集し、県
全体の地域移行の取り組み
を具現化
→各圏域の取組みを推進

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

特徴(強み)

1. 県全体及び各圏域での研修の開催等により、病院、事業所、行政の間に顔の見える関係が構築されつつある。
2. 退院率等の各指標は全国平均をやや上回っている。(26年6月末時点で比較)

課題

1. 地域移行支援・地域定着支援の利用が進まない。
2. 地域移行を実現するための具体的な施策が少ない。(退院支援プログラム、ピアサポーターの養成等)

指標の推移	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1年以上の精神科病院在院患者数（各年6月30日現在）（人）	2,165	2,182	2,177
地域移行支援利用者数（各年度3月末時点）（人）	5	3	2
ピアサポーターの養成者数※（実人数）（人） ※ピアサポーターの養成を目的とした取組を実施している場合	—	—	—
ピアサポーターの活動者数（実人数）（人）	—	—	—

平成28年度の目標と達成状況の方向性(暫定評価)

1. 27年度研修の成果を踏まえたフォローアップ研修の開催。(2/20、2/21に開催予定)
2. 障害福祉サービス実施計画の成果目標の達成。(以下の括弧内が平成28年6月末時点)
 - ①入院後3か月時点の退院率64%以上(60%)、②入院後1年時点の退院率91%以上(90%)、③長期在院者数1,902人以下(2,087人)

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成29年度の取組スケジュール

平成29年度の目標

1. 地域移行連携推進会議の開催
2. 官民連携研修会の開催

時期(月)	実施内容	担当
H29年2月	地域移行連携推進会議構成員への事前説明	障害福祉課
H29年5月	地域移行連携推進会議開催	医療、福祉分野の有識者
H29年10月	官民連携研修会の開催	県、市町村、医療、福祉等関係者
H29年11月～1月	各地域生活支援広域調整会議の開催	保健所、市町村、医療、福祉等関係者